

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 児童デイサービスあさひ丸ひろば

保護者数(児童数)25 回収数18 割合72%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17			1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	2		4		
	③	障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化が適切になされているか	12	2		4		
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	18					
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	17	1			・工作やおかしバイキング、ダンスなど、全部楽しくてたまらない様子です。	・これからも楽しく参加して頂けるように、色々な活動を企画してまいります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		5	5	8	・必要ないかと思えます。	・現時点では交流の機会を設ける予定はありませんが、今後機会が必要か検討していきます。
保護者 への 説明 等	⑦	利用者負担等の説明や支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	18					
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができていますか	17	1			・出来ている。	
	⑨	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	2				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	4	10	3	・現在はコロナの影響があり、簡単には開催できない事は致し方ないと思えます。 ・コロナがあったので中々難しいと思えました。 ・個人的には以前やった保護者会で参考となる情報を頂けたためありがたかったが、ないならないでしようがないと思っている。 ・保護者も参加できるイベントがあると様子も見れ、保護者のつながりにもなり、良いと思えます。 ・保護者同士の関わる機会が今後あれば良いと思えます。	・新型コロナウイルスの影響で、保護者会等は開催していませんでしたが、今後は保護者の方々の交流の場や、子どもたちと一緒に参加できるイベントなども検討してまいります。
	⑪	子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12			6	・こうした場面が一度もないので。	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18					
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	1		3	・ホームページやInstagramを活用して、会報以外でも様子が見たいです。	・Instagramをより活用して、子どもたちのご様子を伝えることが出来る機会を増やしていきます。
	⑭	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	16			2		
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	17			1		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15			3	・子どもが訓練で得た知識を教えてくれるなど、しっかり身についているなど実感しています。	・今後も非常時に備え、職員全体で研修・訓練を行ってまいります。
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	18				・かにダンス(体操?)が大好きだそうです。	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	17	1			・OT、STなど取り入れて頂けたらありがたいです。 ・大満足です。信頼しています。 ・急な変更にも対応して下さったり、本当に助かっています。今後とも宜しくお願い致します。	・職員全体で、より子どもたちに適した支援を行うことが出来るように努めてまいります。

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6年 3月 31日

事業所名 児童デイサービスあさひ丸ひろば

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7				
	②	職員の配置数は適切である	3	3	1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	3			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	4	3			
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	4	3			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3	4		・第三者委員会は設置しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	1	・事業所内で全体会議、研修を行っている。	・外部研修などは職員全員が参加できない事があるので、事業所内で共有していきたい。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	3			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	2		
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	4	3			
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	7				
	⑭	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		・打ち合わせにて、児童の様子を伝えたり、支援方法の確認を行っている。	・打ち合わせが出来ない日などは、支援記録や連絡ノートの確認、個別に伝達を行う。
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7			・毎日終礼を行い、気になった点の共有や改善点について話し合っている。	

	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			・支援記録を残している。	
	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7				
関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	5	2			
	⑲	母子保健やこども・子育て支援等の関係者や学校、関係機関と連携した支援を行っている	4	2	1	・学校へのお迎え時に、様子などを伺っている。必要に応じて会議等を行っている。	
	⑳	就学前に利用していた保育所、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2	1		
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	1	6			
	㉒	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	4			
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	5		
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3	1		
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1			
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3	2		
	保護者への説明書	㉗	運営規定、利用者負担等の説明や、支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	7			
㉘		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1			
㉙		父母の会の活動をしたり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	5		・新型コロナウイルスの影響で開催しなかったが、ニーズに応じて、保護者会や子どもたちと一緒に参加できるイベントを検討していく。
㉚		子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7				

責任等	③①	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の除法を子どもや保護者に発信している	6		1	・ひろば新聞を発行している。	・新聞の発行だけでなく、Instagramを活用して、子どもたちの様子をより伝えていく。
	③②	個人情報の取り扱いに十分注意している	7				
	③③	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1			
	③④	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	3		
非常時等の対応	③⑤	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施している	5	2			
	③⑥	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っている	6	1			
	③⑦	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	2			
	③⑧	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	1		
	③⑨	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1			
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1		・社内に虐待防止委員会を設置。年1回研修実施。	
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7					

事業所自己評価のまとめ

事業所名 児童デイサービスあさひ丸ひろば

職員による自己評価と保護者に評価の共通点

- ・アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。
- ・日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。
- ・運営規定、利用者負担等の説明や、支援内容とこれに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている。
- ・定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。

相違点

活動プログラムが固定化されないよう工夫されている。
定期的に会報等を発行し、活動概要などを保護者に発信している。

改善点と改善への取り組みを話し合った結果

・活動プログラムについては、新型コロナウイルスの影響で自粛していたお出かけなどのイベントについても、今後取り入れていけるように検討しています。

・ひろば新聞にて活動の様子などはお伝えしていますが、SNSも活用して、よりお子様のご様子を知って頂けるようにしていきます。合わせて見学会や親子イベントといった、普段のひろばでのご様子を直接見て頂ける機会も作っていかれたらと思います。